

各会派から 市長に質問!



第1回定例会で、小谷野剛市長が令和2年度の市政運営の基本的な考えと重点施策の概要を述べ、各会派の代表がそれぞれ質問を行いました。ここでは、各会派の質問と市長の答弁から、要旨を体系に沿ってお知らせします。

令和2年度重点施策

若い世代を増やす

田村 親元同居・近居支援補助制度の効果は。

市長 対象者に実施したアンケートでは、約7割の方から補助制度が転入のきっかけとなったとの回答を受けていることから、狭山市を選択する際のアドバンテージとなっていると考えている。また、子育てなどで親に支援してもらえなかったり、何かあったときに、すぐに駆けつけられるなどの回答も多いことから、同居・近居という形態がお互いの負担軽減となっている効果も伺える。

広山 保育士などの処遇改善や保育体制の強化に向けた民間保育事業者への支援策は。

市長 保育士宿舍借り上げ補助や市の単独補助事業である職員の賃金改善のため

の民間保育所等職員雇用費補助金を引き続き給付して処遇改善を図る。また、保育士が本来の保育業務に専念できるよう、周辺業務に従事する補助者を雇用する保育体制強化事業の補助などを実施していく。



まちと産業に活力を

金子 東京2020オリンピック競技大会の事前キャンプ地としての誘致状況は。

市長 平成31年2月に、アメリカのオリンピック委員会が市内ラグビー競技施設を視察した以降は、具体的な進捗はない。

衣川 入曽駅周辺整備事業について、地域の商店街通

勤などの利用者や、市民の意見をどのように聞き、どのように計画に反映されたのか。

市長 入曽地区の全24自治会を対象とした説明会やパブリックコメントで出された意見、私の提案などを通じて寄せられた意見について、内容を精査し、必要なのは反映させるよう努めてきた。その一例として、歩行者が安全に通行できるように、周辺道路の拡幅整備について計画に反映した。

楽しめる健康高齢社会を

土方 公共交通の充実に向けた所信は。

市長 高齢者の移動手段の確保だけでなく、魅力あるまちづくりの観点からも交通の利便性を高めることは重要な課題と受け止めており、市内循環バスのさらなる充実と地域特性を踏まえた新たなコミュニティ交通の導入について、地域公共交通会議において、具体的な検討、協議を重ねていく。

結び

田村 2期目に向けて、市民福祉に向けた市長の改めるの決意は。

市長 昨年7月に情熱一番をモットーに、「狭山の未来を守る」ことを誓い2期目をスタートした。引き続き将来にわたり持続可能で市民の誰もが夢と希望の持てる狭山市の実現に向けて、施政方針で4つの基本方針に掲げた諸施策を、市民、関係団体、事業者の皆さんとともに力を合わせながら推進していく。



はつらつ創造
金子 広和

市民目線で行政運営を
チェック



狭山市議会



公明党
広山 清志

誰もが安心して
暮らせる狭山市へ



令政会
田村 秀二

2期目の市政に
期待する



新政みらい
土方 隆司

交通政策の充実で
便利な狭山を!



日本共産党
衣川 千代子

各種施策に
市民の声を生かして

市政運営をみんなの力で

広山 市民意識調査の結果や市民会議などの検討結果を踏まえ、後期基本計画を策定することだが、策定にあたっての主眼は。

市長 第4次狭山市総合計

衣川 ふれあい健康センターサピオ稲荷山の施設の改修と管理運営の方針は、どのように変わったのか。

市長 昨年度の劣化状況調査の結果などを踏まえ、今年度に詳細なマーケットサウンディング調査を実施した結果、民営化に近い形で民間事業者による施設の改修と管理運営を一体的に行う事業手法の導入を図ることとした。今後、より詳細に、導入に向けた検討を進めていく。

金子 令和2年度からの埼玉県への派遣職員の選定要件は。

市長 関係機関との円滑な連携が図れる資質を持った職員を選定する予定である。

画の基本構想に掲げるまちづくりの基本理念を継承しつつ、多様化し、拡大する行政需要に対応し、持続可能な行政運営を図るため、SDGs、ソサエティ5.0などの新たな視点を取り入れる。さらに、狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体のものとして策定することとしている。

土方 施設の再編については、単に統廃合を進めるだけでなく、機能の充実や交通環境にも十分留意すべきと考えるが、今後の公共施設のあり方は。

市長 人口減少や少子高齢化の進行、施設の老朽化の状況などを踏まえた中で、公共施設の適正な配置と計画的な維持管理が不可欠であり、そのためには施設の再編を図る必要がある。再編に当たっては、集約化や複合化のメリットを生かすとともに、利用者の利便性にも留意しながら進めていく。

